

平成28年度第5回府中市市民協働推進会議における府中市市民協働推進行動計画に係る委員意見と対応状況

No	委員意見	対応
	この資料をどう活用して何をしたいのかを教えてください。	現状把握のための資料である。計画通りに進んでいないものや未着手のものが0ではないので、それに対してどのように対応していくかも検討する必要がある。
	主管課が複数にまたがる施策については、進行管理をどのように行っていくのか。	併記して載せているものもあるが、担当課間で調整していただいた場合は、まとめた形で掲載しているものもある。
	平成29年度に計画の見直しがあるので、平成29年度の予定を記載いただいてはどうか。3年間の評価の目安になるのでは。	委員意見のとおり、評価や見直しをしやすいよう対応していく。
2	「出前講座」については、制度はあっても実績がないということか。	制度としてはあるため、「計画通り」としているが、活用されなければ意味がないため、内容の見直しを行い、積極的に取り組んでいくとともに、当該制度の課題や改善点などを把握しながら、来年度の会議に提示したい。
9 ・ 10	「企業に対する積極的な情報提供」など、顕在化されているものを見ると嘘ではと思うのでは。印刷物を作ったからといって「計画通り進んでいる」のではなく、内容が伴っていなければ意味がないし、共有して関係課と連携していかなければ変わらないのでは。	企業連携や大学連携については、来年度から協働推進課に業務が移管するため、これまでの課題等を踏まえて見直しを行う。また、「計画通りに進んでいる」とはいえ、何らかの課題はあると思うので、課題や展望等を把握し、会議で提示したい。そのうえで、現在掲載している施策で、施策の追加や削除等意見をいただくことを想定している。
31	「市の事務事業に係る協働事業化の検討」について、具体的に事業	市が実施している全ての事務事業440事業について、協働の視点

<p>の募集を掛けて進めているのは、この中に何個かあるのか。 制度を作ったとか、委員会を設置したとか、シンポジウムを実施したとか、そういうものではなく、市の事業を具体的にパイロット事業として募集を掛けているものはあるのか。</p> <p>→具体的に何件か行ったということか。 また、ここで選ばれたものが次年度のパイロット事業となるということか。</p> <p>→この計画の評価としては枠組みのチェック、実際の取組は31番を使いながら、一つひとつの事業についてはそれぞれ進捗管理をしていくということに理解した。</p>	<p>から見直しできないかということで、協働可能性調査を行い、平成29年度に何らかの形で、協働で行っていない事業について新たに実施したい、既存事業について見直しを図りたいという事業を把握した。</p> <p>協働で実施している事業のうち、積極的に見直しを図りたいという事業については評価の候補とし、次の議題で提示するもので、市民に対し、協働を呼び掛けるだけではなく、市としても見直しを図ることが重要と考えている。</p> <p>→調査を行ったものは、これから具体的な見直しを行うこととなる。</p> <p>平成27年度に実施した協働可能性調査については、民間活力の導入の余地がある事業144事業について、見直しを行っていただき、協働で事業を行っていない事業については、積極的に行政提案型協働事業を活用してもらうこととした。</p> <p>オリンピック・パラリンピック関連事業など3事業提案があったが、オリンピック・パラリンピック関連事業は落選となった。平成28年度は、440の事務事業のうち、廃止が決まっている事業を除く427事業について協働可能性調査を行い、何かしらの形で協働化を検討している事業については、平成30年度の行政提案型協働事業を活用いただけるよう、働き掛けを行っている。</p>
<p>35 「公募市民枠の拡充」で、「関係課に働き掛けを行っていく」と記載</p>	<p>ポイントが下がっている以上、全庁的に取りまとめを行っている</p>

	<p>があるのですが、積極的に働きかけた結果がこうだと思うが、果たして増えるのか。</p> <p>拡充と記載があるのに拡充されないのは、何らかの理由があるのではないか。全体的な課題や現場の理由を吸い上げた方がいい。担当課を支援していただければ。</p>	<p>政策部門に更に投げ掛けていくとともに、進捗管理を行っていく。</p> <p>また、政策部門とともに全庁的に公募市民枠を拡充するよう、各課に働き掛けを行う。</p>
35	<p>公募委員の募集を広報に掲載しても何を行うのかが見えづらいので、ある程度内容を知っている方とかに声掛けをしないと増えないのでは。</p> <p>例えば、総合計画市民検討委員会の委員を募集しますとしか書いていないので、具体的に何をどのように行うのかが見えづらく、広報の仕方に課題があるのではないか。公募の方法を根本的に変えないと、公募市民は増えないと思うが。</p>	<p>広報への記載内容を分かりやすく工夫し、ハードルを下げるよう、現在進めている。</p> <p>具体的には、その会議で何を行うのか、いつ・どの程度開催するのかの記載が必要と考えている。</p>
36 ・ 37	<p>「協働事業の評価・検証手法の整備」や「評価結果等の共有及び改善に向けた取組の実施」はまさにこの会議で実施してきたことと思うが、評価を行った成果をどのように共有するのか、そして、どのように修正したのか。</p> <p>→全庁的に伝えていただいているということで理解した。市民についてはどのように周知しているのか。</p>	<p>評価いただいた10事業のうち、市民提案型協働事業は単年度事業であるため、提案型協働事業を除く6事業については、後追い調査をし、次年度の会議で報告する予定。</p> <p>評価結果の共有については、全庁的に評価結果を報告し、他の協働事業でも生かしてほしいと周知している。</p> <p>→この会議での議論の過程はもちろん、市のホームページで評価についてのコンテンツも作成しており、制度も含めて評価結果を掲載している。</p>